

クラウド録画型ウェアラブルカメラ

# Safie Pocket2

操作説明書



- この度は Safie Pocket2 のお買い上げ、誠にありがとうございます。本体を操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくご利用ください。また、お読みになった後も、必ず保管してください。
- 本説明書で使用している画面は、ソフトウェアのバージョンの違い等により実際の製品と異なる場合があります。
- 本体のファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が予告なく変更となります。

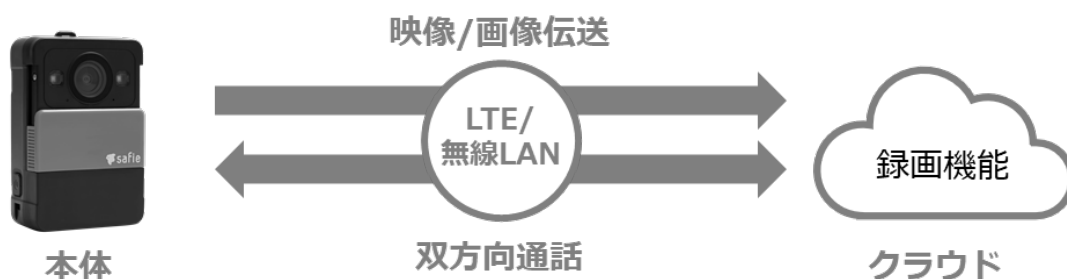
## 1. 目次

1. 目次	2
2. 製品概要	4
3. お使いになる前に	4
付属品の確認	4
各部の名称と役割	5
各 LED の状態表示	7
製品仕様	8
4. 電源を入れる/電源を切る	9
5. 映像を録画する	9
録画の開始	9
録画時の画面表示	9
録画/録音の一時停止/再開	13
ローカルバックアップ機能	13
ローカル録画モード	14
6. 取り付け用クリップ/三脚アダプタの脱着	14
取り付け方	14
取り外し方	15
7. 映像を見ている人と通話する	15
発信する	15
着信する	15
終話する	15
通話モード	15
8. スナップショットを撮影する	16
9. 本体を充電する	16
クレードルで充電する（推奨）	16
USB ジャックから充電する（非推奨）	17
10. メニュー画面について	17
メニューを開く/閉じる	17
メニュー画面内での操作方法	18
設定メニューの内容	18
11. Bluetooth デバイス/有線イヤホンと接続する	19
Bluetooth の有効化/無効化	19
Bluetooth デバイスと接続する	19
イヤホンと有線接続する	21

12.	ネットワークを設定する	22
	SIM の情報を登録する	22
	無線 LAN を設定する	24
	ネットワークの自動選択	26
13.	GPS を設定する	27
14.	その他の操作	28
	レンズ歪み補正を有効にする	28
	ファームウェアをアップデートする	28
	ディスプレイの点灯時間を変更する	29
	デバイスの状態を確認する	29
	ライセンスを確認する	30
15.	安全上の注意	31
16.	付録	35
	故障かな?と思ったら	35
	認証規格の表示	36
	2.4GHz 帯ご使用上の注意	36
	5GHz 帯ご使用上の注意	36
	本製品に関するお問い合わせ	36
17.	取扱説明書記載内容の訂正	37

## 2. 製品概要

本製品はクラウド録画型のウェアラブルカメラです。カメラで撮影された映像はネットワークを介して録画されます。録画機能のほかにも、静止画を撮影してクラウドに保存する機能、クラウドを介してPCやスマートフォンアプリなどからカメラの映像を閲覧している人との通話機能を持っています。



### 【本紙の説明範囲】

本紙の説明は上記の図中の本体側の操作方法を記載します。接続先のクラウドの仕様はお買い求め先までお問い合わせください。

## 3. お使いになる前に

本製品をお使いになる前に本章および「15 安全上の注意」をお読みください。

### 付属品の確認

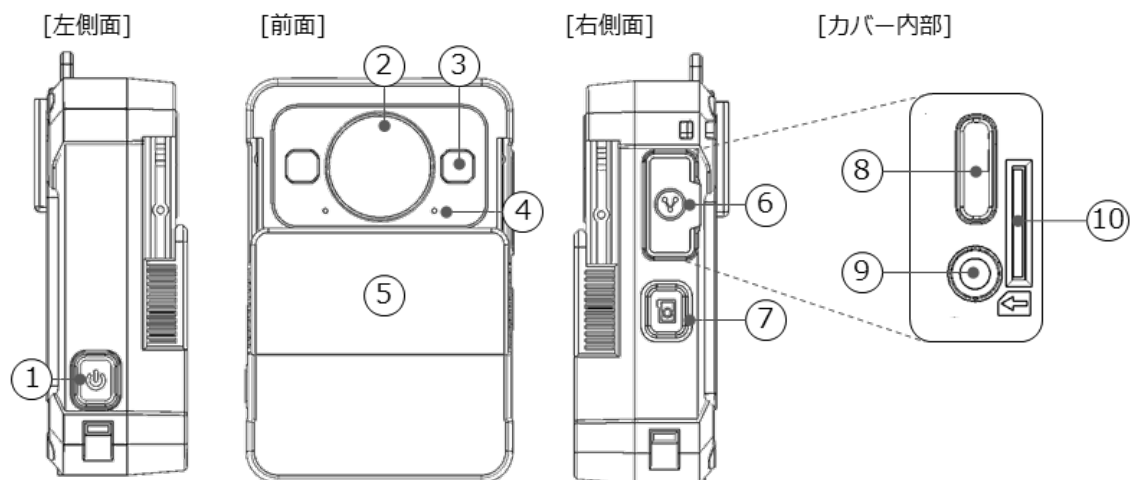
開梱時、以下の付属品が入っていることを確認してください。

- Safie Pocket2 本体
- Bluetooth ヘッドセット (※)
- 充電用クレードル
- AC アダプタ
- USB -Type-C ケーブル
- USB -Type-B ケーブル
- イヤホンジャック変換プラグ
- 取り付け用クリップ
- 三脚用アダプタ
- Safie Pocket2 取扱説明書

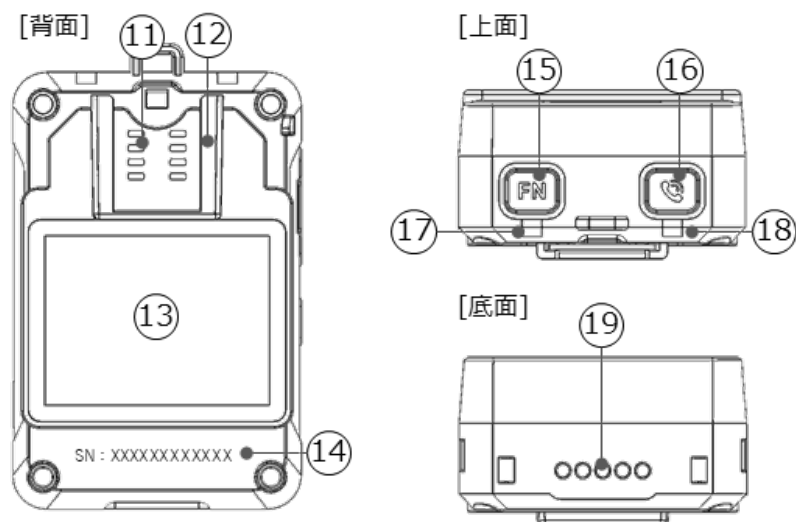
※Bluetooth ヘッドセットはパッケージ版をお買い上げの場合のみ同梱されています。また、お買い上げの販売店や提供形態（レンタル等）により同梱物に変更となることがあります。

## 各部の名称と役割

本製品の各部の名称を説明します。



番号	名称	役割
①	電源ボタン	短押：ディスプレイスリープ/復帰 長押：電源 ON/OFF
②	レンズ	映像を撮影するためのレンズ
③	白色 LED	FN ボタンの長押により点灯/消灯
④	内蔵マイク	カメラ本体のマイク
⑤	レンズカバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影や設定する場合、レンズカバーを開きます</li> <li>・動作中閉じると録画及び録音、通話など機能が停止します (5 分でスリープ状態になります)</li> </ul>
⑥	端子カバー	USB type-C、nano SIM、イヤホンジャックの挿入口のカバー
⑦	スナップショットボタン	短押：スナップショット撮影， 長押：なし
⑧	USB type-C 端子	簡易充電用の USB Type-C の挿し込み口
⑨	イヤホンジャック	2.5mm ステレオプラグの挿し込み口
⑩	nano SIM スロット	nano SIM 専用の SIM カードスロット



番号	名称	役割
⑪	内蔵スピーカー	カメラ本体のスピーカー
⑫	アタッチメントホルダー	同梱の取り付け用クリップおよび三脚用アダプタの装着箇所
⑬	ディスプレイ	撮影している映像やデバイスのステータス閲覧
⑭	シリアルナンバー	カメラ本体のシリアルナンバー
⑮	FN ボタン	短押：メニュー画面表示 長押：白色 LED ON/OFF
⑯	呼び出しボタン	短押：なし 長押：呼び出し動作
⑰	充電状態 LED	充電の状態を示す LED
⑱	端末状態 LED	端末の状態を示す LED
⑲	充電端子	同梱のクレードルから給電する際の端子

## 各 LED の状態表示

本製品には端末の充電状態やクラウドとの接続状態などを本体上部に配置された 2 つの LED によって表示します。各 LED の点灯パターンと見方は以下のとおりです。

### 充電状態 LED (FN ボタン側)

状態	意味
消灯	電源未接続
青点滅	電源接続中 (充電中)
青点灯	電源接続中 (充電完了)

### 端末状態 LED (呼び出しボタン側)

状態	意味
黄点灯	カメラ起動中、スリープ状態
緑点滅	サーバー接続処理中、またはローカル録画開始
緑点灯	サーバー接続済み (録画中)、 またはローカル録画実施中
黄/緑点滅	サーバー接続済み (非録画)
赤/緑点滅	ファームウェアアップデート処理中 (電源を切らずに 10 分ほどお待ちください)
黄点滅	アクティベーション処理中 または内部ストレージアップロード中
赤点滅	異常状態

## 製品仕様

本製品の各部の仕様は本節に記載のとおりです。

### ハードウェア仕様

外形	高さ 84mm x 幅 55mm x 厚み 30mm	
重量	約 160g (バッテリー含む)	
画角	水平 120° 垂直 86°	
有効 画素数	映像	100 万画素
	スナップショット	200 万画素
照明	白色 LED を任意に切り替え可能	
ケーシング	IP67	
動作温度	-20~50℃	
マイク	○	
スピーカー	○	
ホワイトバランス	○ (自動)	
映像回転	○ (90°/ 180°/ 270°)	
映像出力	LTE もしくは無線 LAN による伝送	
映像圧縮方式	H.264	
ディスプレイ	2 インチ LCD ディスプレイ (W40.80xH34.20mm)	
外部インターフェース	USB Type-C (簡易充電用) 2.5mm モノラルジャック※	

※4 極ステレオジャックですが、モノラルでの出力になります。

### 無線仕様

無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
SSID 登録上限	5 個
LTE	○
APN 登録上限	2 個 (うち 1 つはプリセットで削除不可)
対応 SIM	nano SIM (NTT ドコモ系 SIM のみ対応)
Bluetooth	Bluetooth 4.2 (HFP/HSP)
GPS	○



## 電源仕様

バッテリー容量	4,200mAh（取り外し不可）
バッテリー駆動時間	最大 8 時間※
AC アダプタ	DC5V/2A

※バッテリー容量と消費電力をもとにした理論値になります。実際のご利用環境や端末の設定、ご利用条件によって変動します。

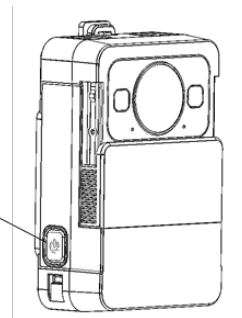
## 4. 電源を入れる/電源を切る

### ・電源を入れる

画面上に「Power On」が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。

### ・電源を切る

画面上に「Power Off」が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。



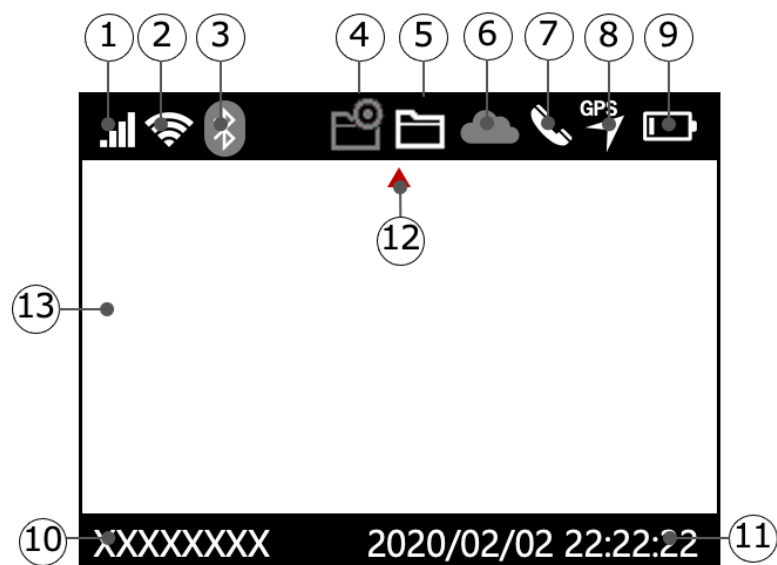
## 5. 映像を録画する

### 録画の開始





本体の電源を入れると、自動的に録画が始まります。

※レンズカバーが閉まった状態だと録画されません。詳細は本書の「録画/録音の一時停止/再開」の節を参照してください。

### 録画時の画面表示





① LTE 接続状況

OFF	SIM エラー※1	モジュール エラー※2	未接続
			

※1 SIM の故障や未挿入の場合こちらが表示されます。

※2 LTE モジュールの故障/不具合の場合こちらが表示されます。

接続済み	通信中
	

② 無線 LAN 接続状況

OFF	未接続	接続済み	通信中
			





③ Bluetooth 接続状況

OFF	未接続	接続済み
		

④ ローカル録画モード

OFF	ON (非撮影)	ON (撮影中)
		



⑤ バックアップデータ

バックアップ データなし	バックアップ データあり	バックアップ中	アップロード中
			

## ⑥クラウド接続状況

未接続または 非ストリーミング	ストリーミング設定 OFF	接続中（ストリーミ ング）
		






## ⑦通話状況

未接続	通話中
	

## ⑧GPS 状況

OFF	未受信	受信済
		

## ⑨電池残量

極小 0～9%	小 10～39%	中 40～69%	大 70～89%	満充電 90～100%
				

## ⑩シリアルナンバー

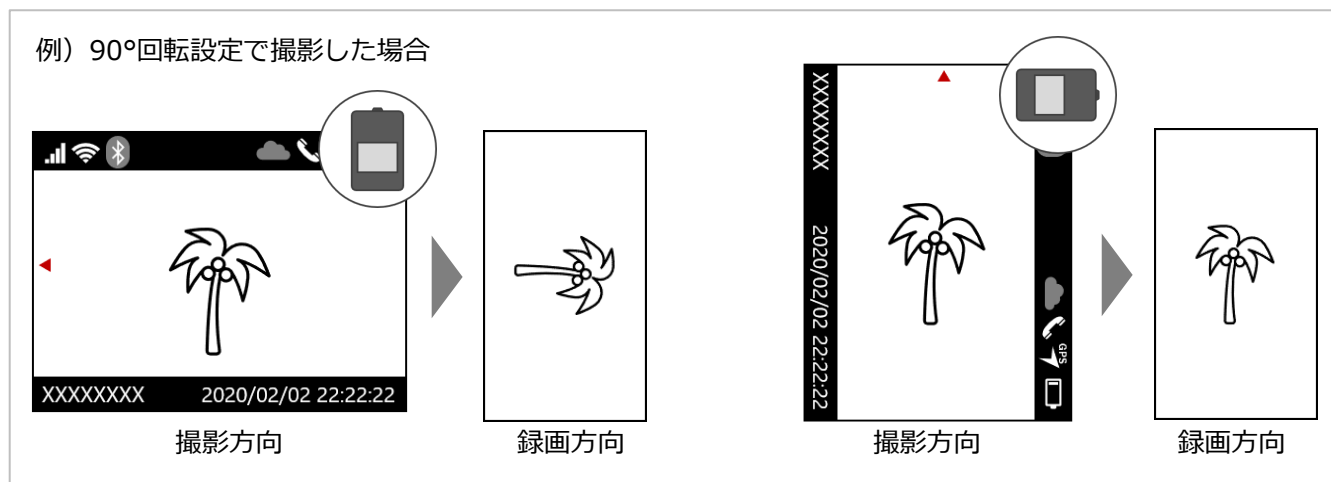
カメラ本体のシリアルナンバーです。トラブルのご相談の際には必ず事前にご確認ください。

## ⑪時刻

現在時刻を表示します。日本標準時（JST）が自動で取得されます。

## ⑫方向ガイド

本製品はクラウド側の操作で録画の方向を 0°/90°/180°/270°で回転することができます。方向ガイドが上を向くようにして撮影することで、正しい方向で録画することができます。

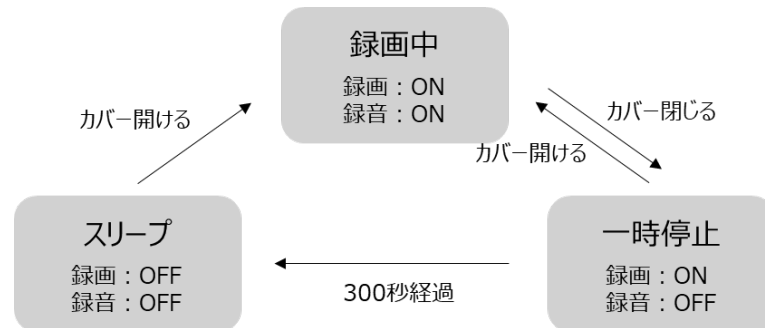


## ⑬プレビュー画面

現在録画されている映像をプレビュー表示します。スナップショットを撮る際の映像確認や設置時の画角の調整の際にご確認ください。

## 録画/録音の一時停止/再開

本体のレンズカバーの開閉により、録画の一時停止やスリープ状態への遷移、また録画状態への復帰が可能です。以下、簡単な状態の遷移図です。



### ・録画の中断

録画中の状態でもレンズカバーを閉めると音声の録音を停止し、一時停止状態になります。(無音状態でレンズカバーを閉じた映像が録画されます。) また、その状態で300秒経過すると録画が停止し、スリープ状態になります。

#### ◆ご注意ください◆

スリープ状態は復帰を即座に行うため完全に動作を止めておらず、バッテリーを消費します。長時間ご利用しない場合は電源を切って保管してください。

### ・録画の再開

一時停止もしくはスリープの状態でもレンズカバーを再び開けると録画状態に戻ります。

※カバーを開けてから再接続まで約5～10秒程度かかる場合があります。

## ローカルバックアップ機能

ローカルバックアップ機能とは、カメラに電源が入った状態でネットワークが切断(※1)した際に、カメラの内部ストレージに映像を録画し、ネットワーク復旧後 内部ストレージに録画された映像をクラウドに自動でアップロードする機能です。(内部ストレージ内の映像はクラウドにアップロード後、自動で削除されます)

内部ストレージは約20GBの容量で、目安として約30時間分(※2)の保存が可能です。

※1 短い間隔で接続と切断を繰り返している場合には、正しく内部ストレージへ録画が保存されません。

※2 理論値です。ご利用の環境や映像の内容により変動します。

#### ◆ご注意ください◆

- 映像のアップロードはネットワーク復旧後、しばらくしてから少しずつ行われます。
- レンズカバーを閉じているときはアップロードされません。

## ローカル録画モード

ローカル録画モードを利用すると、本体の内部ストレージへ録画するローカル録画モードに設定変更できます。ローカル録画モード利用中は、クラウドへストリーム録画を行わない等、一部機能の利用制限が行われます。また、給電状態のままレンズカバーを閉じた場合、内部ストレージ内のバックアップデータをクラウドへアップロードする状態へ移行します。

### ◆ご注意ください◆

- 内部ストレージ内の映像は暗号化されているため、アップロードが完了するまで閲覧することはできません
- クラウドへストリーム録画を行わないため、リアルタイムに映像を確認することはできません
- 通話機能を利用することができなくなります
- 内部ストレージの残容量が不足した場合、古いデータから上書き保存されます

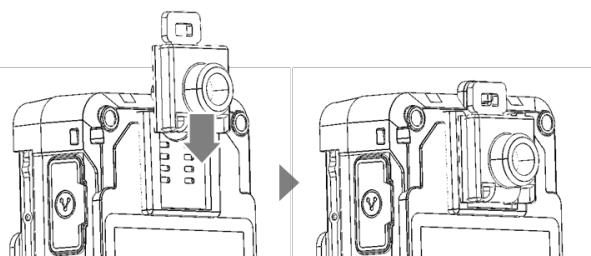
### 設定の流れ



## 6. 取り付け用クリップ/三脚アダプタの脱着

### 取り付け方

本体背面のアタッチメントホルダーに、同梱の取り付け用クリップや三脚アダプタを取り付けることが可能です。装着物をスライドさせて「カチッ」と音がするまで押し込んでください。(図は三脚アダプタの例です)

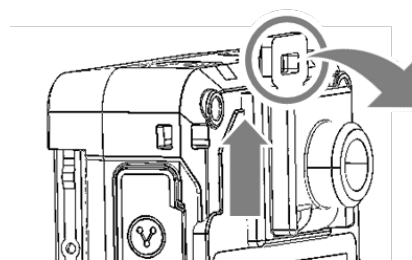


### ◆ご注意ください◆

押し込みが不十分だと利用中にはずれて落下し、けがや故障の原因になります。必ず奥までしっかり押し込んでご利用ください。

## 取り外し方

アタッチメント上部のタブの部分（右図の丸で囲った箇所）を手前に倒しながら、アタッチメント全体を上へ押し上げてください。



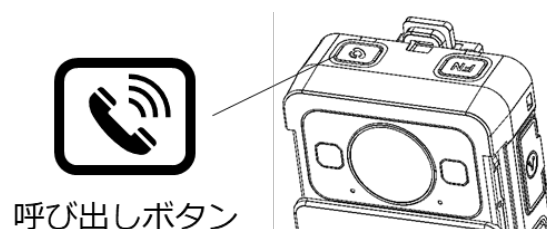
## 7. 映像を見ている人と通話する

本製品では、クラウドを介して映像を視聴している複数人と通話することができます。本章では、通話に際しての発信、着信、終話および通話モードについて説明します。

### 発信する

本体上部の呼び出しボタンを約 1 秒押すとクラウド側に対して発信します。クラウド側が応答すると通話が自動的に開始します。

約 10 秒間呼び出して応答が無かったら本体からの発信を中止します。



### 着信する

クラウド側から本体に発信が入ることがあります。「トゥルルル」という呼び出し音の後に、自動的に通話が開始されます。

### 終話する

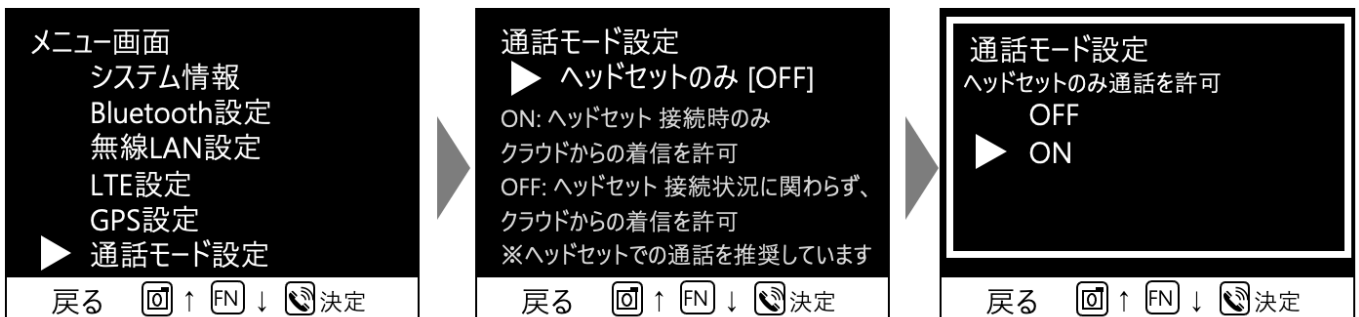
通話中の状態で呼び出しボタンを約 1 秒押すと「ツー、ツー」という音の後に終話します。

### 通話モード

メニュー画面からヘッドセット/イヤホン未装着時にクラウドからの通話を拒否する「通話モード」を設定できます。「ヘッドセットのみ」の状態を有効にするとヘッドセット未接続時にはクラウドからの着信を拒否することができます。予期せぬ着信により、クラウドからの発声が周囲に聞こえてしまうことを防止します。

※お買い上げ後はヘッドセットのみ通話を許可状態になっています。

## 設定の流れ

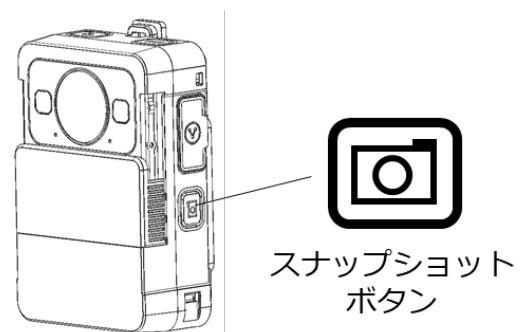


## 8. スナップショットを撮影する

映像を録画中の状態では本体側面のスナップショットボタンを押してください。

スナップショットの撮影に成功すると本体から電子音が流れます。

撮影したスナップショットには位置情報や撮影したデバイス情報が付与されます。また、撮影したスナップショットはクラウドから参照可能です。



### ◆位置情報の参照◆

撮影した写真の位置情報はダウンロードした端末からプロパティを参照したり、専用のツールで開くことで確認できます。

## 9. 本体を充電する

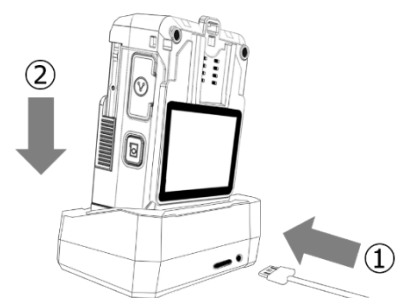
本体の充電には、同梱の USB Type-C ケーブルおよび充電用クレードルを利用します。バッテリー劣化の原因になるので充電完了後は速やかに充電を終了してください。

### クレードルで充電する（推奨）

#### クレードルとの接続

同梱のクレードルに USB type-C ケーブルを接続し、クレードルに本体を「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。

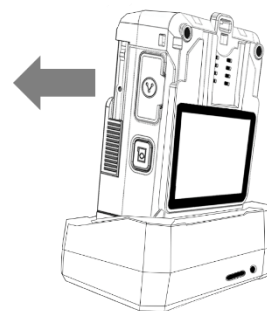
クレードルに接続後、充電状態 LED が青色で点滅したら正しく充電されています。本体の充電が完了したら青色点滅→青色点灯に変化します。





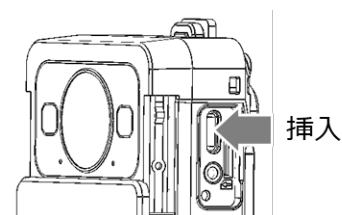
## クレードルからの取り外し

本体をクレードルから取り外す際は、クレードルをしっかりと持って本体を手前（レンズ側）に倒してください。無理に上に引っ張ると破損や故障の原因になるのでご注意ください。



## USB ジャックから充電する（非推奨）

端子カバーを開けて、USB type-C 端子に同梱の USB type-C ケーブルを挿入してください。



### ◆ご注意ください◆

浸水による本体故障の原因になるので、充電が終わったら USB ケーブルを抜いて必ず端子カバーをしっかりと閉めてください。

## 10. メニュー画面について

本製品は、本体のネットワークの設定や設定状況を参照するためのメニュー画面を持っています。本章では、メニュー画面の表示方法やその中の各メニューの意味について説明します。

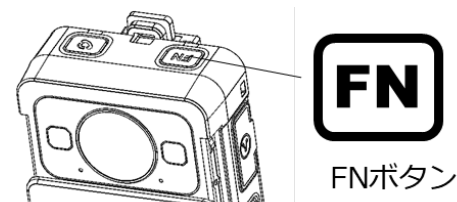
### メニューを開く/閉じる

#### メニューを開く

メニュー画面を表示するにはディスプレイ点灯中に FN ボタンを押してください。




#### メニューを閉じる

メニュー画面のトップで「戻る」を選択、もしくは FN ボタンの長押しでメニュー画面を閉じることができます。



## メニュー画面内での操作方法

メニュー内では、本体の各ボタンを押して操作します。

ボタン	役割
	カーソルを上に移動します。
	カーソルを下に移動します。
	カーソルで選択している項目を確定します。



## 設定メニューの内容

メニュー画面内、各メニューの役割は下表のとおりです。詳細な使い方は関連する章の説明をご参照ください。

システム情報	端末の温度やバッテリー残量、ファームウェア情報や MAC アドレスを参照できます。
Bluetooth 設定	通話時に利用する Bluetooth ヘッドセット/スピーカーの追加や削除が行えます。
無線 LAN 設定	無線 LAN の管理および任意の SSID に対して優先設定を行えます。
GPS 設定	GPS 機能の有効/無効を設定します。
通話モード設定	クラウドからの着信において、ヘッドセット未接続時に着信を応諾するかの設定が行えます。
ディスプレイ設定	ディスプレイが自動的に OFF するまでの時間を変更します。
レンズ歪み補正	レンズ歪み補正の設定を変更します。
省電力モード	省電力モードの設定を変更します。
QR コードスキャン	QR コードを読み込むことで無線 LAN の SSID/パスワードや APN 情報の追加登録を行えます。
ファームウェア更新	現在のファームウェア情報の参照や新しいファームウェアへのアップデートが行えます。
ライセンス	本端末に関する技適やライセンスに関する情報を表示します。

## 11. Bluetooth デバイス/有線イヤホンと接続する

本製品は、本体に内蔵のスピーカー、マイクのほかに外部の Bluetooth デバイスや有線のイヤホンによる音声の入出力が可能です。本章ではそれらとの接続方法について説明します。

### Bluetooth の有効化/無効化

Bluetooth デバイスを接続してご利用する場合、本体の Bluetooth 機能を有効にする必要があります。メニュー画面の「Bluetooth 設定」>「ステータス」の画面から設定してください。

#### 設定の流れ



### Bluetooth デバイスと接続する

#### Bluetooth デバイスとのペアリング

メニュー画面の「Bluetooth 設定」>「デバイス追加」から登録してください。デバイス追加画面に入ると付近の Bluetooth デバイスを自動的に検索します。検索された各端末の中から接続したいデバイスを選択してください。なお、ヘッドセットは最大で3つまで登録可能です。



#### ◆ご注意ください◆

デバイスを追加する際は Bluetooth デバイス側をペアリングモードに設定してください。設定の方法は機種によって異なるので、ご利用する Bluetooth デバイスの取扱説明書をご参照ください。

#### 接続するヘッドセットを変更する

ペアリング済みの Bluetooth デバイスが複数ある場合、「Bluetooth 設定」の画面から接続する Bluetooth デバイスを選択することができます。



### ペアリング済みデバイス欄について

ペアリング済みデバイスの一覧には、Safie Pocket2 本体がペアリングしている Bluetooth デバイスの一覧が表示されます。Bluetooth デバイス名の横にある各マークの意味は以下のとおりです。

	該当する Bluetooth デバイスが付近に存在していて、接続可能であることを意味します。
	該当する Bluetooth デバイスと接続していることを意味します。

### ヘッドセットのペアリング情報を削除する

ペアリング後、ご不要になったヘッドセットの情報は削除することができます。メニュー画面を開いて、「Bluetooth 設定」>「削除」の画面から削除したい機器を選択してください。

#### 削除の流れ



※接続中のヘッドセットは削除できません。削除するには先に接続を解除してからお試しください。

### 動作確認機種

Bluetooth ヘッドセット/スピーカーの動作確認機種はそれぞれ以下のとおりです。

## Bluetooth ヘッドセット

メーカー	品名
Plantronics	Explorer 100

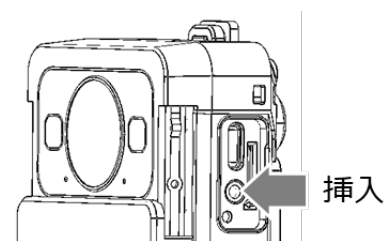
## Bluetooth スピーカー

メーカー	品名
Anker	Anker PowerConf
Jabra	Jabra SPEAK 510
SONY	SRS-XB01

## イヤホンと有線接続する

本体側面の端子カバーを開けて、イヤホンジャックにイヤホンのプラグを挿入してください。

お手持ちのイヤホンが挿入できない場合は同梱の「イヤホンジャック変換プラグ」をご利用ください。



### ◆ご注意ください◆

- ・端子カバーが開いていると内部に水が浸入し、故障の原因になります。水気のある環境では必ず端子カバーを閉めて、Bluetooth ヘッドセットをご利用いただくようお願いいたします。
- ・Bluetooth ヘッドセットと接続中の場合、Bluetooth ヘッドセットのマイク/スピーカーが優先されます。

## 12. ネットワークを設定する

本製品ではクラウドと接続するためのネットワークとして LTE による接続と、無線 LAN による接続の 2 種類が利用できます。本章では、それらネットワーク情報の登録や設定の方法を説明します。

なお、本製品では各種ネットワーク設定を新たに登録する際には専用の Web ページで QR コードを生成し、本体でその QR コードを読み込む必要があります。登録の際には Web ページを開くための PC やスマートフォンを事前にご用意ください。

### SIM の情報を登録する

お客様でご用意した SIM をご利用する場合は SIM の情報を設定する必要があります。本製品では QR コードを読み込むことで SIM の認証情報の設定を行います。

#### 設定用の QR コードを生成する

##### 設定情報の確認

ご利用予定の SIM カードの以下の情報を確認してください。ご不明な場合は SIM カードのご契約先にご確認ください。

- APN 名
- ユーザー名
- パスワード
- サインイン情報

##### QR コードの生成

以下のページにアクセスして、確認した SIM カードの認証情報を入力してください。必要な情報を入力後、ページ下部の「QR コード生成」のアイコンをクリックするとアイコン下に QR コードが表示されます。

#### ▼ネットワーク設定用 Web ページ

<https://safie.link/app/network>

LTE設定

APN名:

ユーザー名:

パスワード:

サインイン情報の種類:  
なし

QRコード生成

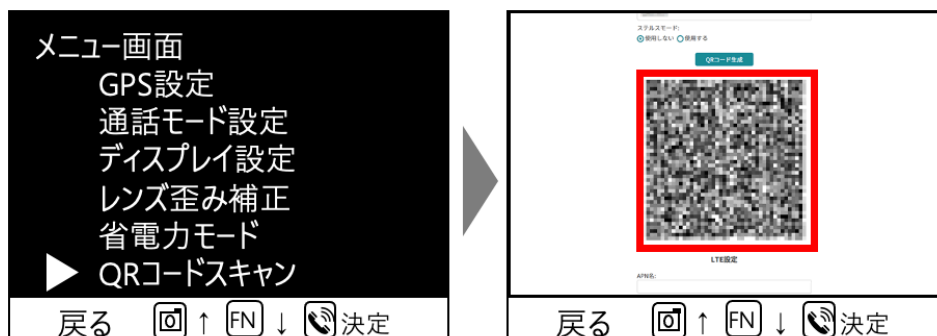
図 設定用 Web ページ画面サンプル

## QRコードを読み込む

本体のメニュー画面内、「QRコードスキャン」の画面で、前項で生成したQRコードを読み込みます。

### 読み込みの流れ

「QRコードスキャン」の画面を開くとプレビュー画面に赤枠が表示されます。画面を見ながらQRコードが画面内の赤枠に収まるように本体を動かして調整してください。読み込みが完了すると自動的に本体に情報が登録されます。



#### ◆ご注意ください◆

- ・本製品はNTTドコモ系のSIMカードのみ対応しています。その他のSIMカードはご利用できません。
- ・本製品はクラウドへの動画アップロードのために1日あたり最大で約10GBの通信が発生します。容量が不足した場合、録画や通話が正常に行えなくなる可能性があります。

## 登録したSIMを利用する

SIMを挿入すると、登録した情報をもとに自動的にLTEネットワークに接続を試みます。SIMを挿入してもLTEネットワークに繋がらない場合、APN情報が誤っている可能性があるので設定した情報をご確認ください。

#### ◆ご注意ください◆

- ・LTEネットワークを利用するにはメニュー画面内の「LTE設定」>「ステータス」からLTEのステータスがONになっていることを確認してください。
- ・SIMの挿入や取り外しを行う際は、本体の電源を切った状態で行ってください。手指の水気を拭き取ってから行ってください。

## LTE 有効化の流れ



## 登録した情報を削除する

登録した SIM の情報が不要になった場合、メニュー画面内の「LTE 設定」>「削除」から削除が可能です。

※プリセットで登録されている「iijmobile.biz」は削除できません。

## 削除の流れ



## 無線 LAN を設定する

LTE の電波が入らない場所や不安定な場所は無線 LAN によりクラウドに接続することができます。本製品では QR コードを読み込むことで無線 LAN の接続情報の設定を行います。

## 設定用の QR コードを生成する

### 設定情報の確認

ご利用予定の無線 LAN の以下の情報を確認してください。ご不明な場合はお客様のネットワーク管理者様にご確認をお願いします。

- SSID
- パスワード
- ステルスマードの有無



## QR コードの生成

以下のページにアクセスして、確認した無線 LAN の接続情報を入力してください。必要な情報を入力後、ページ下部の「QR コード生成」のアイコンをクリックするとアイコン下に QR コードが表示されます。

### ▼ネットワーク設定用 Web ページ

<https://safie.link/app/network>



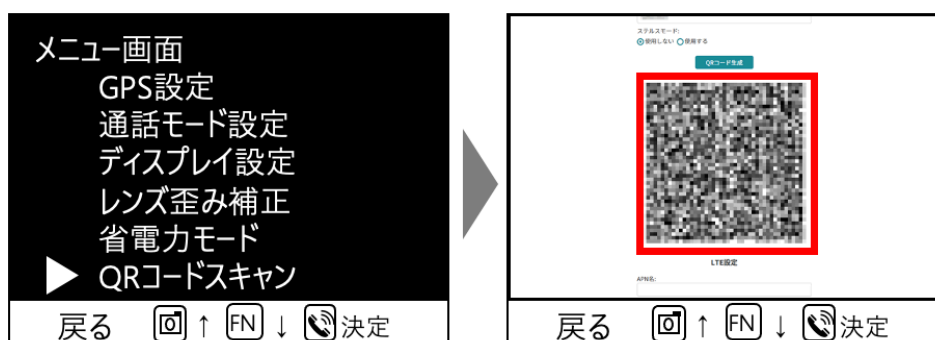
図 設定用 Web ページ画面サンプル

## QR コードを読み込む

本体のメニュー画面内、「QR コードスキャン」の画面で、前項で生成した QR コードを読み込みます。

### 読み込みの流れ

「QR コードスキャン」の画面を開くとプレビュー画面に赤枠が表示されます。画面を見ながら QR コードが画面内の赤枠に収まるように本体を動かして調整してください。読み込みが完了すると自動的に本体に情報が登録されます。



## 無線 LAN を利用する

無線 LAN を利用するには、無線 LAN の設定を有効にする必要があります。メニュー画面内の「無線 LAN 設定」>「ステータス」から無線 LAN 設定を ON（有効）に設定してください。

## 無線 LAN 有効化の流れ



## 優先設定する

本製品では、無線 LAN が複数ある環境下などで、特定の無線 LAN を優先的に利用できるように優先設定の機能があります。優先設定はメニュー画面内の「無線 LAN 設定」から行います。

### 優先設定の流れ



## 設定した情報を削除する

登録した無線 LAN の情報が不要になった場合、メニュー画面内の「無線 LAN 設定」>「削除」から削除が可能です。

### 削除の流れ



※接続中の無線 LAN の情報は削除できません。削除するには先に接続を解除してからお試しください。

## ネットワークの自動選択

本製品は、現在接続中のネットワークが切断した際に既定の優先順位に基づき別のネットワークに自動で再接続します。優先順位は以下のとおりです。

優先順位	ネットワーク
高	LTE
中	無線 LAN（優先設定）
低	無線 LAN（非優先設定）

## ◆ご注意ください◆

- ・設定が OFF になっていたり、設定が ON でもそのネットワークに接続できない場合（圏外など）はその次に優先順位の高いものが選択されます。
- ・非優先設定の無線 LAN で候補が複数ある場合は電波強度が最も高いものが優先されます。

### 13. GPS を設定する

本製品は GPS 情報を取得することが可能です。GPS 情報を取得すると、クラウド側で端末の位置の把握や、撮影するスナップショットに対して GPS の位置情報を埋め込むことができます。本章では GPS の有効化/無効化の方法について説明します。

※GPS を有効化（ON の状態）することで、上記のクラウド側での参照やスナップショットへの情報付加は自動的に行われます。

#### 設定の流れ



## 14. その他の操作

### レンズ歪み補正を有効にする

本製品はレンズによる映像の湾曲を補正するために歪み補正の機能を搭載しています。必要に応じて設定のうえご利用ください。

※省電力モード有効時は、レンズ歪み補正は自動で無効になります。

#### 設定の流れ



### 省電力モードを有効にする

本製品はバッテリー使用量を抑えた省電力モードの機能を搭載しています。省電力モード設定後、自動で再起動が行われます。また、省電力モードを有効にするとレンズ歪み補正が自動で無効になります。

#### 設定の流れ



### ファームウェアをアップデートする

本製品はクラウドから最新のファームウェアを取得することができます。ファームウェアのバージョンアップには新機能や不具合修正が含まれますので、常に最新のバージョンでご利用いただくようお願いいたします。

## ファームウェアアップデートの流れ



※上記 2 つ目の画面で、「ファームウェア更新」の項目が無ければ端末のファームウェアは最新の状態です。

### ◆ご注意ください◆

最新のファームウェアが配信されると、本体起動時に以下のような画面が表示されます。通話ボタンを押下で上記のファームウェア更新画面に遷移します。FN ボタンを押下でキャンセルされます。



## ディスプレイの点灯時間を変更する

本製品は背面ディスプレイの点灯時間を変更することが可能です。ディスプレイを見ながら作業する時間が長い場合は設定を変更のうえご利用ください。

### ディスプレイ変更時間変更の流れ



## デバイスの状態を確認する

本製品の本体温度や現在のファームウェアのバージョン、本製品の MAC アドレスを参照できます。メニュー画面の「システム情報」からご確認ください。

## 確認の流れ



## ライセンスを確認する

本製品の技適への適合状況や利用しているライセンスの情報はメニュー画面内の「ライセンス」から参照できます。




## 確認の流れ








## 15. 安全上の注意

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止(してはいけないこと)を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

### 危険

#### 使用環境・条件



引火、爆発のおそれがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながら本製品を操作（通信）するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通信）してください。

## バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックは下記のことをお守りいただけない場合、けがやバッテリーパックの漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



バッテリーパックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れしないでください。



指定の充電用クレードル以外では充電しないでください。



本製品以外の機器に取り付けしないでください。



火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。



濡れた本製品とバッテリーパックを充電しないでください。火災や感電の原因となります。



端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。



液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

### 警告

#### 使用環境・条件



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での本製品の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。



本製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。



## 使用方法について



オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。



エアバック装置の近くに本製品を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たって怪我をすることがあります。



機械に巻き込まれるおそれのある場所では、スピーカー・マイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。



本製品の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



高温になる場所（火や暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、怪我の原因となります。

## 異常の処理について



内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。



煙が出たら、すぐに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店もしくはサポート窓口にご連絡ください。



雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。








## 保守・点検







本製品のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

## ⚠ 注意

### 使用環境・条件

-  テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
-  直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  イヤホンジャック利用時など、端子カバーが開いた状態で水気のある場所で利用しないでください。浸水して故障の原因になります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
-  本製品や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

### 使用方法について

-  長期間使わないときは、電源を切ってください。
-  お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。
-  ヘッドセットやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。
-  充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

## 16. 付録

## 故障かな？と思ったら

本機に故障の疑いがある際にはまずこちらをご確認ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	充電が切れています。	十分に充電してご利用ください。
手元のカメラ側で音声が届かない	ペアリングしているヘッドセットの音量が小さい。	ヘッドセットの説明書を参照のうえ、音量を上げてください。
映像を閲覧しているパソコン側で音が聞こえない	マイク・スピーカー音量設定が小さいか、ミュートになっています。	クラウド側のマイク・スピーカーの音量設定が小さくなっているか、ミュートになっている可能性があります。クラウド側の音量を確認してください。
音が伝わらない (音声クラウドに届かない)	マイクの音量設定が小さいか、ミュートになっています。	クラウド側のマイクの音量設定が小さくなっているか、ミュートになっている可能性があります。クラウド側の音量を確認してください。
クラウドに繋がらない。	ネットワークに問題があります。	プレビュー画面のLTE/無線LAN接続状況を確認のうえ、ネットワークが接続されているか確認してください。
APN情報は正しいのにLTEが繋がらない	LTEモジュールが起動時にエラーを起こした可能性があります。	再起動をお試しください。何度か再起動しても復帰しない場合は故障の可能性があるため、お買い求めの代理店もしくはサポート窓口にご相談ください。
APN情報やSSIDが削除できない	内部的なエラーです。	本体を再起動して、再度お試しください。
Bluetoothデバイスとペアリングできない	コネクション時のエラー、もしくはBluetoothデバイスがペアリング状態でない可能性があります。	Bluetoothデバイスがペアリング状態になっていることを確認して、もう一度お試しください。
QRコードが読み込めない	無効なQRコードの可能性があります。	専用ページから作成されたQRコードか確認して、もう一度お試しください。
QRコードで読み込んだ情報が保存できない	内部的なエラーです。	本体を再起動して、再度お試しください。
ファームウェアが更新できない	ネットワークエラー、もしくは内部的なエラーの可能性があります。	ネットワークの接続状況を確認してください。エラーが繰り返し表示される場合はお買い求めの代理店もしくはサポート窓口にご相談ください。

## 認証規格の表示

- 本端末は、電波法並びに電気通信事業者法に基づく技術基準に適合しています。  
以下の方法で右記の技適マークおよび認証番号を画面に表示することができます。
- 「メニュー画面」>「ライセンス」の中にある下記マークを参照ください。



## 2.4GHz 帯ご使用上の注意

- 本端末の Bluetooth 機能および無線 LAN 機能は 2.4GHz 帯を仕様します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の免許を要する構内無線局および免許を要しない特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局（以下、総じて「ほかの無線局」という）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに仕様周波数を変更するかご利用を停止してください。
  3. その他、ご不明な点やお困りごとが起きた場合はお買い求めの販売店、もしくは本紙に記載のサポート窓口までお問い合わせください。

## 5GHz 帯ご使用上の注意

- 本端末は、5GHz の周波数帯において、5.2GHz 帯 (W52)、 5.3GHz 帯 (W53)、 5.6GHz 帯 (W56) の 3 種類の帯域を使用することが可能です。
  - 5.2GHz 帯(W52 / 36、40、44、48ch)
  - 5.3GHz 帯(W53 / 52、56、60、64ch)
  - 5.6GHz 帯(W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)
- 本端末に内蔵の無線 LAN を 5.2GHz/5.3GHz 帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

## 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは以下のサポート窓口、もしくはお買い求めの販売店までご連絡ください。

### セーフティーサポート事務局

メールアドレス : support@safie.jp

受付時間 : 月～日曜 終日

対応時間 : 月～金曜 10:00～17:00 ※当社指定休業日を除く

## 17. 取扱説明書記載内容の訂正

Safie Pocket2 の本体に同梱の「Safie Pocket2 取扱説明書」において記載内容に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに以下の通り訂正させていただきます。

### 訂正 1

#### 変更箇所

「Safie Pocket2 取扱説明書」裏面、製品仕様>ハードウェア仕様の表

#### 変更内容

誤)

デイナイト	○
-------	---

正)

暗部対応	白色 LED を任意に ON/OFF 可能
------	-----------------------

### 訂正 2

#### 変更箇所

「Safie Pocket2 取扱説明書」裏面、製品仕様>ハードウェア仕様の表

#### 変更内容

誤)

外部インターフェース	USB Type-C (充電用) 2.5mm ステレオジャック
------------	------------------------------------

正)

外部インターフェース	USB Type-C (簡易充電用) 2.5mm モノラルジャック
------------	--------------------------------------

### 訂正 3

#### 変更箇所

「Safie Pocket2 取扱説明書」裏面、製品仕様>ハードウェア仕様の表

#### 変更内容

誤)

動作温度	-30℃~60℃
------	----------

正)

動作温度	-20℃~-50℃
------	-----------

### 訂正 4

#### 変更箇所

「Safie Pocket2 取扱説明書」裏面、製品仕様>無線仕様の表

#### 変更内容

誤)

Bluetooth	Bluetooth 4.1(HFP/HSP)
-----------	------------------------

正)

Bluetooth	Bluetooth 4.2(HFP/HSP)
-----------	------------------------